

7. 徳島南部自動車道 阿南IC(仮称)～立江櫛渕IC(仮称)の開通予定

- 7.1 徳島南部自動車道
「阿南IC(仮称)～立江櫛渕IC(仮称)」の開通予定
- 7.2 徳島南部自動車道
「阿南IC(仮称)～立江櫛渕IC(仮称)」の開通効果

令和7年度

7.1 徳島南部自動車道「阿南IC(仮称)～立江櫛渚IC(仮称)」の開通予定

- 徳島南部自動車道 阿南IC(仮称)～立江櫛渚IC(仮称)区間が、令和7年度に開通する予定(令和5年9月13日公表資料)。
- 本区間が開通することにより、県道130号 大林津乃峰線等の現道部における渋滞緩和や、交通転換による交通事故の減少、搬送時間短縮等による救急医療活動支援について期待されている。

開通予定



令和 5年 9月 13日
徳島河川国道事務所

開通見通しのお知らせ

**E55 徳島南部自動車道 阿南 IC(仮称)～立江櫛渚 IC(仮称)が
令和7年度に開通します**

四国地方整備局徳島河川国道事務所が整備を進めている、徳島南部自動車道(阿南IC(仮称)～立江櫛渚IC(仮称))について、令和5年7月13日に開催された有識者委員会*で、課題であった軟弱地盤の沈下収束時期が示されました。

今般、沈下収束時期を踏まえ、工程を精査した結果、開通への見通しがついたことから、開通年度を公表いたします。

*四国横断自動車道 軟弱地盤対策技術検討委員会

■徳島南部自動車道(阿南IC(仮称)～立江櫛渚IC(仮称)) 3.2km

【開通予定】令和7年度

【期待される効果】新たなルート形成による渋滞緩和
交通転換による交通事故減少
搬送時間短縮等による救急医療活動支援

引き続き、早期開通に向け、事業を推進してまいります。

*本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
副所長(道路) 水野 匡洋(みずの まさひろ) TEL: 088-654-2211(代表)
◎道路調査課長 関 英智(せき ひでとも) TEL: 088-654-9624
◎主な問い合わせ先

徳島南部自動車道 阿南IC(仮称)～立江櫛渚IC(仮称) 概要

<平面図>



- 凡例
- 今回開通区間
 - 事業中区間
 - 高速道路
 - 一般国道(指定区間)
 - 一般国道(指定区間外)

<位置図>



<事業概要>

事業名	四国横断自動車道(阿南～徳島沖洲)
区間	自) 徳島県阿南市下大野町渡り上り 至) 徳島県徳島市北沖洲
計画延長	17.3km(今回開通区間: 3.2km)
構造規格	第1種第2級: 自動車専用道路
	設計速度: 100km/h
	車線数: 4車線(暫定2車線)
	標準幅員: 23.5m
	(暫定2車線時: 10.5m)

<開通区間の状況>



7.2 徳島南部自動車道「阿南IC(仮称)～立江櫛淵IC(仮称)」の開通効果～渋滞緩和～

○那賀川渡河部付近では、通勤時の朝夕ピーク時間帯に渋滞が発生している状況であるが、今回の開通により、渋滞箇所を回避した新たなルートの形成による移動時間の短縮や、交通転換が図られることにより、県道130号 大林津乃峰線等の現道部における渋滞緩和が期待される。

周辺道路の交通渋滞箇所



那賀川渡河部付近の渋滞状況



〈所要時間の短縮 (勝浦町沼江交差点⇒阿南IC(仮称))〉



資料)令和3年度全国道路・街路交通情勢調査
 ※混雑時平均旅行速度
 ※徳島南部自動車道(立江櫛淵IC(仮称)～阿南IC(仮称))は規制速度(70km/h)で算出

〈所要時間の短縮 (大林北交差点⇒阿南IC(仮称))〉



資料)令和3年度全国道路・街路交通情勢調査
 ※混雑時平均旅行速度
 ※徳島南部自動車道(立江櫛淵IC(仮称)～阿南IC(仮称))は規制速度(70km/h)で算出

【地域の声 (LEDメーカー)】

・従業員の出勤には主に車が使用されている。時差出勤を使っても各工場に3000台ほどの通勤車両が向かうため渋滞になっている。徳島南部自動車道の整備は、事業継続上で必要である。



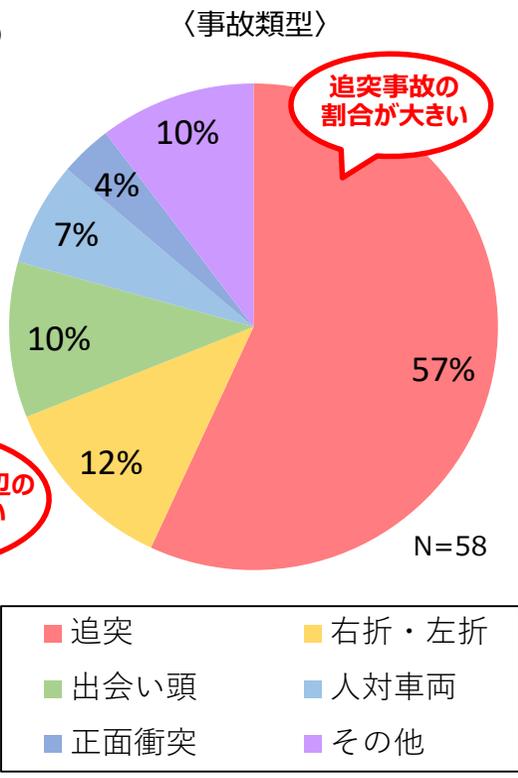
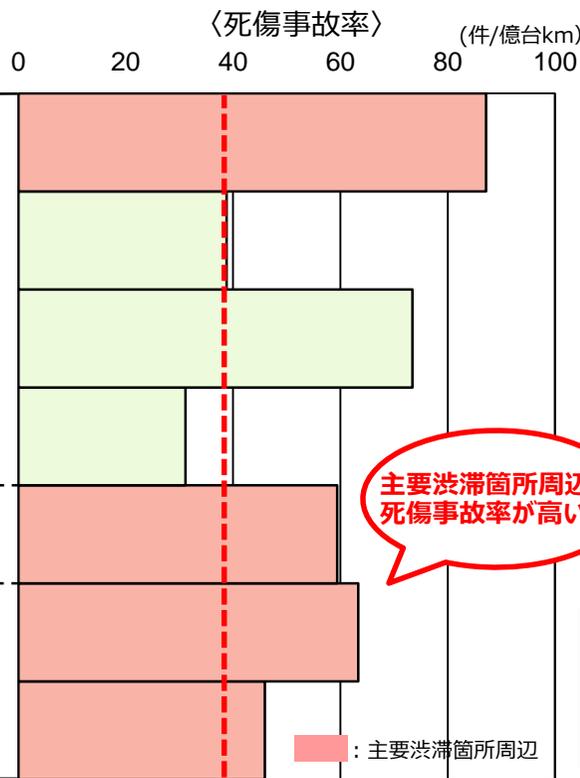
ヒアリング) LEDメーカー (令和5年6月)

7.2 徳島南部自動車道「阿南IC(仮称)～立江櫛淵IC(仮称)」の開通効果～交通事故減少～

○今回開通する区間に並行する県道130号大林津乃峰線では、主要渋滞箇所周辺において、徳島県内平均を上回る死傷事故が発生しており、その多くは、主に交通混雑時に発生しやすい追突事故となっている。

○今回の開通により、県道130号大林津乃峰線から徳島南部自動車道へ交通転換が図られ、県道130号大林津乃峰線の交通事故の減少が期待される。

県道大林津乃峰線(並行区間)の死傷事故率及び事故類型



▲徳島県内の国道および県道の死傷事故率平均38.8件/億台km

資料：ITARDAデータ(平成30年～令和3年)

・県道大林津乃峰線は事故の多い路線であるが、徳島南部自動車道への交通転換による事故の減少が期待される。
また、運転時間の短縮により、ドライバーの集中力の低下を防ぎ、事故減少につながると思っている。



7.2 徳島南部自動車道「阿南IC(仮称)～立江櫛淵IC(仮称)」の開通効果～医療活動支援～

- 阿南市から最寄りの第3次救急指定病院である徳島赤十字病院へは、毎年1,000件を超える救急搬送が行われている。
- 今回の開通により、搬送時間の短縮や、交通状況を踏まえた搬送ルートへの選択が可能になるなど、地域の救急医療活動支援が期待される。

救急搬送ルート及び搬送時間



〈阿南市～徳島赤十字病院への救急搬送件数〉



〈上中町交差点～徳島赤十字病院までの搬送時間〉



資料)令和3年度全国道路・街路交通情勢調査
 ※混雑時平均旅行速度
 ※徳島南部自動車道(立江櫛淵IC(仮称)～阿南IC(仮称))は規制速度(70km/h)で算出

【地域の声(救急隊員)】

- ・重症者は徳島赤十字病院に救急車で搬送しています。
- ・阿南市西部及び南部地域からの救急搬送ルートは、これまでは県道大林津乃峰線のみでしたが、今回の開通により、**交通状況によってルート選択が可能**になります。
- ・また、**県道の渋滞が緩和されることによる搬送時間の短縮にも期待**しています。

